公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

隊友

令和８年３月15日
第863号　毎月１回・15日発行

発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03（5362）4871・FAX4876
購読料　１カ月 120 円（税込み送料別）、
１カ年 1,700 円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

ディフェンス 63 号好評発売中（定価 400 円）
隊員・隊友会員は 350 円（税込み、送料別）
予約お申込みは、各県の隊友会事務局まで。
市ヶ谷駐屯地・基地内の厚生棟地下１階書店でも販売中

隊友 web 版はホームページ右側の web 隊友紙から

令和８年北方領土返還要求全国大会に参加

北方領土返還要求全国大会実行委員会主催による令和８年北方領土返還要求全国大会が、２月７日、雪交じりの中、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、東京都隊友会から宮本事務局長ほか４名、事務局から日向公益課長が参加した。本大会は、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年２月７日の「北方領土の日」に東京で開催されている。

第１部では、パネルディスカッションが行われた。歯舞群島、択捉島・国後島引揚者１・２・３世、志発島引揚者３世写真家、東京大学准教授などによる、ディスカッションが行われ、ソ連兵の学校への突然の侵入、引き揚げ時の労苦の様相、国立図書館で家族による感動の引き揚げ者名簿の発見、北方領土写真集の出版に係る苦労などついての紹介、意見交換が行われ、会場を埋めた聴衆は臨場感のある話に聞き入っていた。

第２部では、まず杉山和義大会実行委員長からの挨拶の後、高市早苗内閣総理大臣が現在の北方領土問題の厳しい状況を述べるとともに、粘り強く、ロシア側と意思疎通を図るとともに働きかけていくことを強調し、「北方領土問題は国民全体の問題であり、国民が一丸となって取り組むことが不可欠です。また、わが国の立場が国際社会において正しく理解されることも重要です。政府として、今後とも、国民世論の啓発や対外的な情報発信に広く取り組んでまいります」と述べた。

続いて、茂木敏充外務大臣らによる返還実現に向けた力強い意志が示され、会場は大いに盛り上がった。

第２部の主要出席者の挨拶の後、日本青年協議会、自衛隊家族会、標津町長、元島民関係者、学生代表、軍事評論家より、「返還交渉の再開」、「墓参再開」、「返還要望の継続」などの実現へ向けた力強い決意が述べられるとともに、黄川田仁志北方対策担当大臣からの北方領土返還を求める表明が行われた。

大会の最後に、日本青年会議所副会長から、返還を求める大会アピールが行われ、日露両国間の関係改善と交渉再開、北方墓参・北方交流再開、署名活動の推進などについて決意が表明された。なお、この模様は YouTube でも配信され、多くの方々が閲覧した。隊友会は、北方領土返還要求運動連絡協議会の構成団体として、引き続き返還運動に参加していく。

挨拶する高市総理大臣

決意を述べる各界各層代表

大会に参加した東京都隊友会員

隊友会が後援

全自衛隊剣道大会が開催

第51回全国自衛隊剣道大会＝全国自衛隊剣道連盟主催

隊友会が後援する第51回全自衛隊剣道大会が、２月７、８の両日、自衛隊体育学校三宅記念体育館で開催された。前回大会から女子団体の部を新設し、女性自衛官の活躍の場となった。今大会では新たに男子団体戦Ⅱ部（45歳以上の部）を新設し、生涯競技の剣道に相応しく往年の選手の戦いが繰り広げられた。大会における隊友会理事長杯は優秀個人賞として、内海誠選手（海自・江田島）、森永誉聖（よしまさ）選手（陸自・福岡）及び阿瀬知咲佳（あせちさか）選手（陸自・伊丹）の３名に贈られた。

競技は、男子団体戦Ⅰ部71個チーム、男子団体戦Ⅱ部12個チーム、女子団体戦16個チーム及び個人戦（男子６段以上の部93名、男子５段以下の部127名及び女子の部67名）で競い合った。

男子団体戦Ⅰ部では、優勝は別府Ａ、準優勝は福岡Ａ、第３位は国分チームと北熊本チームで、尚武の地の九州勢（陸自）が上位独占した。新設の団体戦Ⅱ部では空自幹候校（奈良）チームが航空総隊チームとの空自対決を大将戦で制し、初代王者となった。一方の女子団体戦では昨年に引続き熱戦が繰広げられ、前回惜敗した練馬（陸自）が那覇（空自）を破り、悲願の初優勝を果たした。

個人戦では、男子６段以上の部で空幹候校（奈良）の藤井秀平選手が初優勝した。男子５段以下の部では、陸自北熊本の阿部大翔選手が初優勝した。女子の部では、空教隊（空自）の柳元有未選手が初優勝し、新鋭の活躍が光った。

大会全般を通して意地を見せた陸自、空幕大会に向けて錬成を積み勢いを見せた空自、チームワークを発揮し健闘した海自、今後とも剣道を通してそれぞれ３幕の更なる飛躍を期待したい。

６段以上個人戦：果敢に攻める優勝した空幹候校・藤井選手（左）

隊友会理事長杯の３選手（左から内海、森永、阿瀬知選手）

徳島県隊友会

第14飛行隊災害派遣を激励

２月17日、徳島県那賀町で林野火災が発生し、同日１９０３に徳島県知事から第14旅団（旅団長・仲西勝典陸将補）に対し災害派遣要請があり、18日朝から空中消火活動等を開始した。同日夕刻には、事後の対応は自治体のみで可能になったことから、県知事から第14旅団長に災害派遣撤収要請があり、活動を終了した。

空中消火に中方航空隊（美保分屯地）CH-47 ×２機、14飛行隊（北徳島分屯地）UH-１×２機（空中統制を兼ねる）の航空機が映像伝送に中方航空隊（八尾駐屯地）の航空機UH-１×２機が、それぞれ参加した。

徳島県隊友会（会長・高木護志）は、18日、災害派遣中の第14飛行隊（隊長・斎藤翔平２陸佐）を激励した。隊長は現場指揮のため進出中で不在であったため、山本副隊長に対し激励品を手交した。（会長）

高木会長と山本副隊長

CH-47 が散水する様子（統幕 HP から）

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村　直広　様　５千円
神奈川県会員
高久　貞雄　様　３千円
（順不同、二月二十八日現在）

お詫びと訂正

２月号（８６２号）の１面「令和８年二団体共催賀詞交歓会」の記事中、左下にある写真のキャプションで「増田自衛隊家族会会長による乾杯の挨拶」とあるのは、「万歳三唱の前に挨拶する増田自衛隊家族会会長」の誤りでした。

また、「海賊対処行動水上部隊「ゆうだち」が厳寒の中を出港」の記事中、「地区総監部幕僚長」の階級が「海将補」とあるのは「１等海佐」の誤りでした。お詫び し訂正いたします。

発煙筒

「ゲームチェンジャー」

ウクライナ最前線地域の映像は草原一面に薄く雪が積もり、戦場とは思えないほど森閑としていました。しかし雪に見えたものは廃棄された大量の光ファイバーの残骸であり、ドローンを無線妨害する敵に対抗するため開発された有線式ドローンが残したものでした。

ウクライナの戦況は私が現職当時に想定していたものとは異なる様相を呈しており、特に機体搭載カメラの映像を専用ゴーグルでリアルタイムに確認しながら操縦するFPV（一人称視点）ドローンの登場で様々な戦法が開発・実践されています。戦場でのドローンの運用は加速度的に進化して、かつての情報収集目的から攻撃用へと拡大し、現在、彼我の接触戦から10～20㌔の地帯は侵入すれば直ちにドローンで攻撃されるため無人の荒野と化しているそうです。このような状況を鑑みれば、やはりドローンは戦い方を変えた「ゲームチェンジャー」でしょう。だとしても今後の戦いはドローンが主体となり通常戦力である戦車や火砲は不要になるのか？という問いには否と感じざるを得ません。これまでもゲームチェンジャーとなった兵器は数多くありましたが、戦闘を通じ、必ず対抗策が講じられます。冒頭の光ファイバードローンもジャミングという敵の対抗策へ更に対抗するため導入されました。さらにそれに対抗すべくレーザーなどの指向性エネルギー兵器も研究開発され、いずれドローンはゲームチェンジャーの座を喪失する可能性もあります。つまり期間の長短はあっても、ある兵器が戦場を支配できるのは長い歴史の中では一時的でしょう。もちろん少子高齢化が進行するわが国では、大切な隊員一人ひとりの命を守るためドローンが不可欠の手段となります。他方、ウクライナの戦況が長期間膠着状態に陥っているのを見れば、ドローンだけでは敵の侵入を拒否することはできても、地域を確保・奪回するためには従来の歩兵や戦車などの近接戦闘能力も欠かせないとも言えます。自衛隊はこの新たな兵器を活用するための防衛力整備を進めていますが、同時にドローン対策にも取り組み、最終的にはドローンを含めた総合戦闘力の構築に向け尽力してほしいと思います。（常務執行役　野澤真）

防衛省職員および定年退職者の皆様へ
防衛省団体扱 火災保険のご案内
トータルアシスト住まいの保険
―住まいの保険および地震保険―
団体扱 長期年払
例えば 東京都の官舎なら
M構造（マンション構造）
60㎡ 平成22年6月築
保険金額（支払限度額）
家財300万円まで
破損等50万円まで 高額貴金属等100万円まで
特約
臨時費用補償・類焼損害補償
1事故1億円まで
＋地震150万円まで
補償内容
免責金額（自己負担額）
火災リスク・風災リスク 0円
盗難・水濡れ等リスク・破損等リスク 5万円
借家人賠償責任・修理費用補償
1事故1,000万円まで ※3
風害でもお支払い！
令和8年3月20日～2年間で 年/8,810円
一般契約に比べて ※1 ※2 約14%割安!!
※補償を受けられる方又はその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。
※1 割引率約14%は、以下の通り、大口団体損害割引等を連算して算出しております。
分割払の場合：1－((1－大口団体損害割引・10%)÷(1－一般契約分割割増分・5%))
一時払の場合：1－((1－大口団体損害割引・10%)×(1－団体扱一時払割引分・5%))
大口団体扱割引10%は、2026年3月1日～2027年2月28日までを保険期間の始期日とする契約に適用され、団体の契約件数により毎年見直されます。口座振替方式の場合において残高不足等により、保険料が集金日の属する月の翌月末までに集金されなかった場合等には団体扱特約が失効となり、残額の保険料を一括お支払いしていただくことがあります。大口団体損害割引10%ならびに団体扱一時払の5%割引は、地震保険には適用されません。
※2 保険の対象が築年数1年以上の建物の場合、上記の割安となる率が変わることがあります。
※3 借家人修理費用の破損等リスクのみ免責金額（自己負担額）が3千円となります。
この広告は防衛省共済組合を集団者とする団体扱火災保険の概要を記載したものです。ご契約にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。不明な点等がある場合は取扱代理店までお問い合わせください。
2026年2月作成　25TX-005860
防衛省OBで、損害保険会社経験者の社員が真摯にご相談に対応します!!
お問い合わせ・取扱代理店
株式会社 タイユウ サービス
専用 ページ
〒162-0845
新宿区市ヶ谷本村町3-20 新盛堂ビル7階
フリーダイヤル
0120-600-230
受付時間 平日 9:00～16:30
TEL 03-3266-0679
FAX 03-3266-1983
引受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
担当課
公務第一部公務第二課 TEL 03-3515-4124
団体扱の対象となる範囲（契約者・被保険者）や、団体扱特約失効時の取扱については、取扱代理店までご連絡ください。

引越の見積は 隊友会へ!!

サービスご利用の流れ

① 申 込	ネット申込フォーム（またはFAX申込書）に記入して送信
② 見 積	・依頼会社からの連絡（電話、メール）で見積（下見）調整 ・依頼会社の見積（下見）に応対 ・依頼会社から見積書を受領（メール、文書）
③ 引 越	・契約する引越会社を決めて、契約の有無を会社に連絡 ・引越の実施、引越料金の支払い・領収書の受領
④ 請 求	赴任先の会計担当部署に必要な請求書類を提出（見積書、領収書、転居費精算機確認書、申立書、証明書類）

ネット申込みが便利です
・いつでもどこでも手軽です
・申込内容がメールで届きます
・引越会社に即日依頼されます
・メールでフォローを受けられます
申込みはこちら
見積申込
利用者満足度※ 90.2%
※令和７年４月～11月申込者アンケート（回答者 671 名）より

隊友会が選ばれるワケ
➢ 多数の引越会社からの電話で煩わしい思いをしない
➢ しつこい営業や関係ない商品のあっせんがない
➢ 引越会社から連絡がないときの対応や依頼会社の追加が簡単
➢ ＯＢならではのアドバイスを受けられる など

プライベートの引越しや隊友会員、ご家族も利用できます

引越しは日通　ハート引越センター　離島引越し便　株式会社サカイ引越センター　アリさんマークの引越社　0123 アート引越センター　三八五引越センター
※対応地域に注意してください。

お問い合せ
公益社団法人 隊友会
電　話　080-6248-0298
080-6842-8746
メール　jigyou@taiyukai.or.jp